

# 稚内港ボーディングブリッジ完成

稚内港は、利尻島、礼文島を結ぶ利礼航路の玄関口として、島民や観光客を中心に多くの方々に利用されており、地域の水産と観光振興の重要な役割を担っています。

しかしながら、本港のターミナル施設は、悪天候の時もフェリーの乗降口まで外を歩くしかなく、高齢者をはじめ、島民や観光客の方々へ十分な環境が提供できませんでした。この度、鷲泊港を先駆けに香深港、稚内港、沓形港の4港のすべてのボーディングブリッジが供用を開始し、お年寄りや体の不自由な方にも「やさしさ」を提供するとともに、観光客へのホスピタリティの向上を図り、稚内港発展の一役を担います。



悪天候時の下船状況



利礼航路位置図

# 事業概要

## 【事業内容】

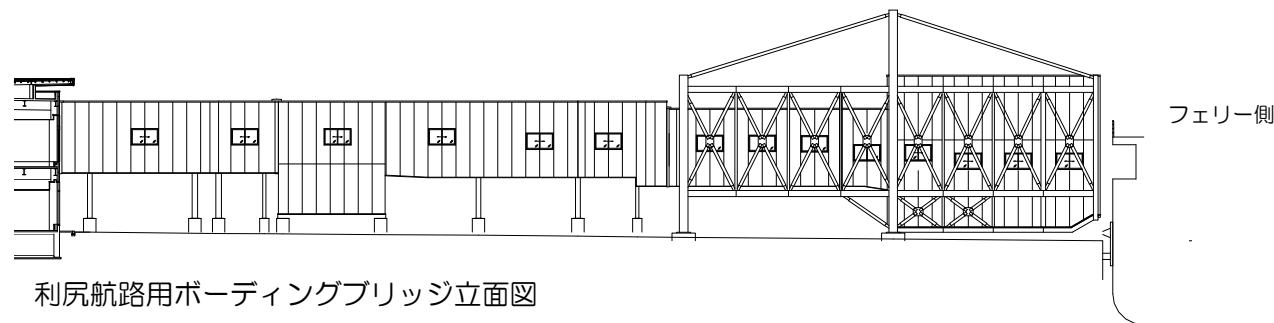
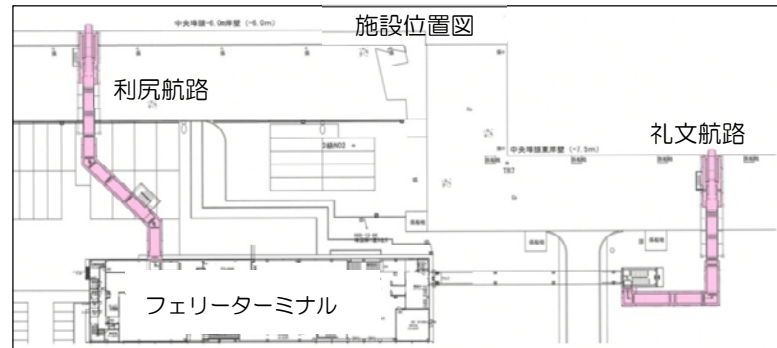
- 利尻航路用ボーディングブリッジ 全長 66.82m
- 礼文航路用ボーディングブリッジ 全長 61.98m

## 【事業期間】

平成 25 年度～平成 26 年度  
(2箇年)

## 【総事業費】

約5億5千万円

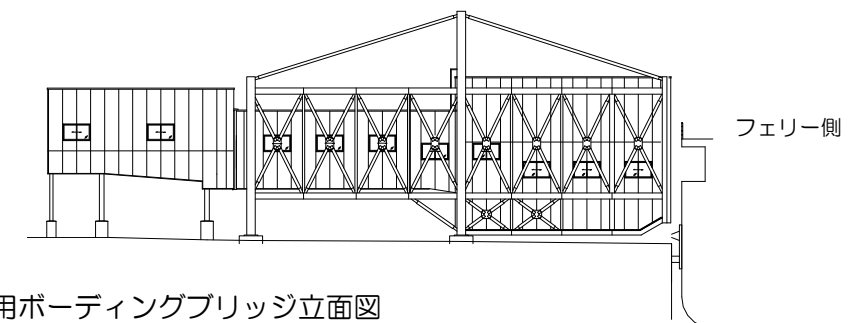


利尻航路用ボーディングブリッジ立面図

# 完成状況



ボーディングブリッジの設置によりフェリーターミナルから直接、乗下船が可能となり、施設の通路内はバリアフリー化され、快適な移動が可能になりました。



礼文航路用ボーディングブリッジ立面図